1. 活動の概要

6月13日（木）、浜田市立石見小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに6年生2クラスを「①浜田市の歴史を知ろう･和同開珎をつくろう」と「②奈良の大仏つくりを学ぼう」の二つを交互に入れ替え、実施しました。

①は、浜田市の文化財マップを元に石見小学校周辺の遺跡や文化財の説明をして、身近に遺跡が存在することを知ったようでした。また、和同開珎つくりでは金属の溶ける様子や、古代のお金の造り方がわかりました。全員が思った形にならなかったですが、古代の人々も失敗することがあったこともわかり納得していました。

②の大仏つくりはDVDでまず奈良の大仏について昔の人々の数多くの思いがあったことがわかりました。12年という大変な苦労のすえ完成したことを驚いていました。大仏パネルはクラスで協力し、完成した後、大仏の部分など疑問に思ったところを質問し、答えることで、それぞれの形に意味があることがわかりました。

2. 活動の様子

1)和同開珎つくり

「怪我しないようにね。」

2)古代体験活動～奈良の大仏つくり

「この部分は顔？」

「きちんとそろえないと･･･」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ●和同開珎を作れて良かった。
- ●和同開珎が上手にできなかった。
- ●鏡が作りたい。
- ●昔の道具が知りたい。
- ●金属が溶けるのが見られて良かった。。
- ●本物の大仏にさわってみたい。
- ●大仏つくりに12年もかかったとは。
- ●東大寺に行きたい。

●縄文土器が作りたい。

2)担任の先生から…

〇ふるさと浜田をもっと大切にしないといけないと思いました。

〇大仏パネルをくっつけて提げられると大きさがよりわかる。

〇DVD は視覚的にわかりやすい。

3)埋文センターから

学校の周辺や登下校で通りかかる近くの資料館に古い物が多くあることを知り、皆さん驚いていました。今度資料館に行ってみるといっていた児童もおり、興味が深まったようです。

和同開珎つくりは怪我のないように手順を確認し、慎重に進めることができました。思った形にならない児童もいましたが、金属の溶ける様子など初めて見る光景に興味津々でした。

大仏パネルつくりはクラスで協力し完成させることができました。2 クラスが入れ替え実施という実施方法をとったことで、時間の管理が難しく、若干授業時間が延びてしまいました。今後の反省点として改善できるようにしたいと思います。

ふるさとの歴史に興味をもっと持ってもらえると良いと思います。